

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立竹城台東小学校
校長 多賀井 直子

中学校区におけるめざす子ども像
自らを律し、自ら主体的に、生涯にわたり学び続ける子

令和6年度 重点目標
「多様性を認め合う豊かな心と自尊感情を育成し、協働的な学びのための資質と確かな学力の向上を図る」
～「子どもが学ぶ・子どもと学ぶ」を合い言葉に聴きあうことを通して「つながり合い・学び合う」学習集団づくりを～

確かな学びの現状
昨年度の教育アンケートの結果では、約7割の子どもが授業を肯定的にとらえ、前向きに参加している。また、「聴くこと」を大切にされた授業改善に取り組んだ結果、ペアやグループで子どもたちが対話的に学ぶ姿をたくさん見ることができた。しかし、「自主学習を週1回以上している」55%「授業では自分の考えを伝えている」59%のように、主体的で対話的な学びについてはまだまだ課題が見られる。
今年度も、主体的で対話的な深い学びの実現をめざして、自分たちの考えを他者へ伝え深めていくことを楽しいと感じる「進んで考え、いきいきと輝く子の育成」をめざして、授業改善を進めていきたい。

豊かな心・健やかな体の現状
昨年度、「聴くこと」を大切にされた授業改善に取り組んだ結果、「友だちが意見をしっかりと聴いてくれること」が、「聴いてもらえる安心感」につながり、約7割の子どもに自尊感情の高まりが見られた。しかし、「困ったことがあると先生や友だちに話ができる」子どもの割合は64%、「人の心をきずつけることを言ったりしったりしていない」子どもの割合は63%と伸び悩んでいる。子ども同士がつながる集団づくりを通して、豊かな心を育てていきたい。
昨年度、体育委員会を中心に子どもたちが体を動かすことができる取組を行った。今年度は、全校で体力向上に向けた取組を行っていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学びに向かう力の育成	聴き合うことを通して、子どもがつながり合い学び合う授業づくりを推進し、進んで学習し、いきいきと輝く子どもを育成する。	●聴き合うことを通して子どもたちがつながり合い学び合う授業を展開する。	「友だちの考えを聴いて学習している。」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月末	B 聴き合うことができるように、まずは相手の話を聴くために必要な態度を、意識的に育てている。	A 肯定的回答が88%と大幅に増加した。来年度はさらに思考力を高める交流へつなげていきたい。	A 自主学習に対する意識の向上が見られました。来年度は、つながり合い学び合う授業がどの教科でも見られるとさらに良いと思います。
			全学年で自主学習ノートを活用した家庭学習を推進する。	「家では自主学習を週一回以上している。」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月末	A 年度初めに、週1回以上自主学習を徹底するよう共通理解して進めている。 (1年生は2学期より)	A 肯定的回答が78%と大幅に増加した。来年度はさらに見やすいノート掲示を工夫し、児童の意欲向上につなげていきたい。	A
	授業改善	ユニバーサルデザインの授業を展開したり、思考や理解を深めるためにタブレットを活用したりすることで、子どものつまづきを防ぎ、確かな学力を育成する。	全職員で統一したノート指導に取り組み、どの子にも分かる授業づくりをめざす。 タブレットを活用した個別最適な学びを推進し、子ども一人一人の学びに向かう力を育成する。	「授業はわかりやすい」の肯定回答80% 一日一回以上パソコンを活用する。	教育アンケート 実践報告	1月末 1月末	A 全校でノート掲示をすることで、ノートの書き方は定着してきた。公開授業や研究授業を実施し、わかりやすい授業づくりに努めている。 A タブレットの活用を定期的に呼びかけると共に、実践報告を行うことで、活用状況を全職員で共有している。	A 肯定的回答が87%と10%増加した。来年度は児童の思考がわかるノートづくり、授業づくりに努めたい。 A 肯定的回答が94%と高い数値であった。来年度は場面に応じたICT活用を進めると共に、ICTリテラシーの向上をはかっていきたい。	A ICTを活用している様子がよくわかりました。ノート指導は大切だと思うので、引き続きがんばっていただきたいと思えます。
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	全教育活動の中で人権教育を推進し、あらゆる場面で子ども同士がつながり合える集団づくりを進める。	全ての子どもが安心して学校生活を送るために、子どもたちの自尊感情を高め、一人ひとりの居場所をつくる。	「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月末	A 毎学期「自尊感情を高めるための取り組み」を各学年計画的に進め、実践報告をすることで共有している。	A 肯定的回答が82%と目標を達成した。今後も児童の自尊感情を大切に、一人ひとりの居場所づくりに努めたい。	A 子どもの自尊感情が高まってきていることが素晴らしいと思えます。自尊感情が高まり、学校が居心地の良い場所になっていると思えます。学習場面での異学年交流を充実させてほしいと思えます。
			学級活動やたてわり活動、異学年交流等を通じて、子ども同士のつながりや主体性、リーダー性を育て、子どもの自尊感情を高める。	「自分にはよいところがある」「異学年交流についての項目」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月末	A 委員会活動や、たてわり活動を通してリーダー性の育成を図っている。生活目標を提示することで規範意識が高まっている。	A 教育アンケートにおいて+10%以上を達成することができた。異学年交流の回数に関して検討していきたい。	A
	●★学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの認知と防止、早期発見・早期対応のために、丁寧な対応を行う。	「困ったことがあれば先生や友だちに話ができる」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月末	A 職員会議や生徒指導委員会での共通理解、アンケートやシステムを活用した共有などを実施している。	A 教育相談週間や、迅速な聞き取りなどの対応によって、教育アンケートの数値が+15パーセント向上している。今後も継続していきたい。	A		
体力向上	子どもの体力向上に向けた取組を進め、安全で健康的な生活を送る力を育成する。	体育の授業の中で、感覚づくりや基礎運動をする時間を確保する。また、全校で楽しく取り組める体力向上の取組を行う。	「運動することは好きである」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月末	B 感覚づくりに取り組む。季節を鑑み、秋以降に体力向上の取り組みを実施予定。	A 「運動することが好きである。」の項目において、+5%以上を達成できていた。今後も体力向上の取り組みを続けていけるようにしていきたい。	A おおさか子どもEKIDEN大会に2年連続出場できたことは良かったと思えます。いろいろな取組を期待しています。	
		子どもの健やかな体づくりのため、基本的な生活習慣や目の健康について啓発を行っている。	令和6年度5月実施のアンケート+5%	生活アンケート	1月末	A 手洗いや目の健康の保健指導を行った。保健だよりを発行し、常時全体へ啓発を行っている。	A アンケート項目で、+5%以上を達成した項目と、変動のない項目があった。継続的に取り組めるようにし、さらに向上を目指す。	A	
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を心がけ、保護者・地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。	●学校からのたよりや学校ホームページの積極的な活用により、本校の教育活動の取組を発信していく。	「学校は、情報発信に努めている」の肯定的回答90%	教育アンケート	1月末	B tetoruにより、学年単位での連絡もこまめに行うことができています。ホームページでの発信をもう少し充実させたい。	A 教育アンケートにおいて、96%の肯定的回答をいただいた。今後もtetoruやホームページを活用し、迅速に発信していきたい。	A 引き続き、保護者・地域に開かれた学校づくりをよろしくお願ひします。
			保護者・地域に開かれた学校づくりのため、参観・懇談等の機会を適切に設ける。	「学校は、参観や懇談等の機会を適切に設けている」の肯定的回答90%	教育アンケート	1月末	A 入場制限なしの学習参観・学級懇談会を実施している。大きなトラブルもなく計画通り進んでいる。	A 教育アンケートにおいて、99%の肯定的回答をいただいた。来年度も同様に計画したい。	A

校長より(年度末) お互いに聴きあい学び合うことをめざして取り組みを進めてきた一年間でした。子どもたち一人ひとりが認められ、全ての子どもが大切にされていると実感することができる学校でいられるよう、引き続き教育活動を進めていきます。小規模校だからできる教育活動について考え、前向きに取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様・地域の皆様と共に竹東の子を育てるため、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

学校関係者評価者から(年度末)
地域でも、子どもたちがやさしく寄り添っている姿を見る場面が増えてきたと感じています。これからも、小規模校の特色を出して、頑張っていたいただきたいと思います。